



## 「新型インフルエンザ」

黒松 康郎（東京オフィス）



自分の子供や近所の子供が家にいるケースが多く相変わらず新型インフルエンザが猛威を振るっているようです。子供の野球の試合でも相手チームがインフルエンザで棄権したりするケースもあります。今では新型インフルエンザにかかるのは当たり前になり、初期の頃みたいにかかった人が容疑者扱いになる事はなくなり、マスクをする人も少なくなりました。ワクチンの接触もきっちり伝わらないままに、マスクミが騒ぎ、結局病院もどうしたらいいかわからない状態だと思います。どちらかという子供がかかるものです。興味本意ではなく真剣に伝えてほしいです。私の子供も9月初旬にかかり脳症で入院しました。インフルエンザ脳症とは3人に一人は死に、残った2人に一人は後遺症が残ります。これから2年間は検査し後遺症がないのか判断して行きます。あの時、熱が出てすぐに病院に連れていきました。2日間何もしないで家で寝ていた状態です。夢と現在がわからない状態になり再度違う病院に連れていき、結局大きな病院に運ばれました。その時は小学校4年生の子供が簡単な足し算もできなかったです。本当に今でも悔しいです。もつと現実を伝えてほしい、「まだかかっていない子供達は死に至るケースが身近に有ること、そして甘く見ないように、今一度強く伝えてあげて欲しい。」殺人事件を詳しく伝えるテレビ番組、混乱させる事ばかりのテレビ番組、それ自体が殺人の容疑者ではないのでしょうか。

さて、私の経験から、インフルエンザは熱が出てすぐに検査しても反応が出ません。ただ疑わしい時は必ずタミフルやリレンザを処方してもらってください。高熱は子供にはかなりの負担です。まだこれから流行る可能性があります。甘く見ないで、もう一度見直してください。ただ龍太郎は、今も元気で野球しています。いつまで出来るのか不安がありますが、後遺症がない事を信じています。

## 「価格の対極」

成瀬勝英（配送部）



最近、物の値段がやたら安くなる傾向に有るようだ。スーツ 上下一着八千円、ジーンズ一本七百元、大型液晶テレビ十万円、等々。結果 余り利益には繋がってはいないとの噂だが、他店に集客を取られる驚異から、赤字覚悟の目玉商品作りに奔走しているように見える。その対極に有る一流ブランドを定義付けるとすれば、職人を育てる時間と手間、素材やデザインも重要な点だが、何よりその精神性を重んじている事が 上げられる。決して安売りはしないし、値段に見合ったクオリティーの高さと、顧客の満足度を第一として堂々と高価な値段を付けるのだ。

多くの集客を望まず、限られた一部の人にだけ提供できる少数生産を 旨とし、購入者自身に特別な印象を持たせる効果も有る。日本には一流ブランドが無いと言う。何故に？商品の精度、品質、安全性、デザイン等、どれを取っても世界最高水準にあるというのに。西洋ブランド品の生立ちは西洋文化そのものが階級社会であり、貴族や富裕層向けに特別な商品を提供する事で商売を成功させる地盤が有ったとも言えるが、日本文化の真髄は贅沢を良とせず、目立つ事を控えた奥ゆかしさを美德と捉える文化だった。

しかし昨今はそうした精神性も消えゆく時代になった感が有る。貧富の差は益々広がり、格差社会の文字をよく目にする。何も西洋文化や米国を真似る必要は無いのだが、無駄や利益を追求する余り、人間にまで無理を強いられるとすれば、それはおかしい。程々という事が有る。安すぎる商品作りも、巡り巡って此方の仕事に無理を強いる要素になりうる。ブランド的発想は望んではいないが労働と商品作りに対する自信に見合った価格を堂々と価値として表示したいものだ。

# 2010年 上半期カレンダー

が休業日

## 1 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

## 2 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

## 3 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 4 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 5 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## 6 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

### 「城廻」

伊藤 雅典 (製造部)



先日、家内・娘夫婦と一緒に犬山城へ行ってきました。今まで、自分から進んで城を見学に行ったことなど一度も無い私でしたが、城好きのロンドンブーツの淳が大変興味のある城として犬山城のこと言っていたので、自宅からも近いこともあり一度行ってみようと思いついたわけです。また、このところ年を取ったせいかな何年もNHKの大河ドラマを観続けている為、戦国武将に興味を持ち出したと言うこともあるかもしれません。犬山城と言っても別名、白帝城とも呼ばれます。この言われは、三国志に登場する劉備が臨終を迎えた城として有名な白帝城と建城された地形が良く似ているところから付けられたそうです。確かに長江の代わりに木曾川が流れる山の上に建てられた、非常に眺めの良い城でした。

城見学と言えば名古屋城ぐらいいいか覚えていないのでどうしても、それと比較してしまい小さな城という感じでした。ハンパ張りのちよつとみすばらしい感じのするテントの下で靴を脱ぎ入城すると、目の前に石垣があるのには驚きました。3層4階地下2階建ての地下部分から入る為です。階段は急勾配で天井も低く頭をぶつけそうでした。大軍の敵が攻め入るのも大変な感じでした。

犬山城は国宝でもあり、現存する天守でもっとも古いとされています。1537年に現在の天守が建てられ、織田信長の叔父に当たる織田信康が入城。秀吉も一瞬だけ入城したこともありその後、めまぐるしく城主が変わり、元和4年(1618年)尾張藩付家老成瀬正成が城主となり、以後成瀬家の子孫が入城していました。また日本で唯一の個人所有の城としても有名でしたが、平成16年に財団法人化されました。その他、国宝に指定されている城として松本城(長野県松本市)・彦根城(滋賀県彦根市)・姫路城(兵庫県姫路市)があり、犬山城を入れて国宝四城と言います。姫路城はちよつと遠いですが、他の二城はドライブを兼ねて行けそうな感じですが、国宝とは行きませんが近場にも色々興味深い城があるのでまずはその辺から攻めてみたいものです。家内も城廻は嫌いではなさそうなので、老後の楽しみとして日本100名城めぐりでもできたらいいかなと思っています。

# 12月の予定

2日(水) 円道陽子さん誕生日

5日(土) 第一土曜日休み

12日(土) 第二土曜日休み

家族忘年会(中日ビル5F)

19日(土) 第三土曜日休み  
(休業実施日)

23日(水) 天皇誕生日

25日(金) 生産会議  
12時～13時

CS向上会議

15時30分～16時30分

経営会議

16時40分～17時40分

26日(土) 仕事納め  
(1月4日まで)

2010年1月

5日(火) 元気が出る信念会

ラグナスイートホテル 17時～19時



## 「歴史とアイドル?に触れる旅」

中部文具工業協同組合の福利厚生事業として、滋賀彦根城・長浜のバス旅行へ参加しました。森松産業からは私を含め6名にて。「ゆるキャラ」ブームの先頭集団を走るひこにゃん人気に盛り上がり、また歴史を感じる町並みの長浜でのんびりと散策とガラス細工の買い物と、充実した旅行でした。名古屋からも車で1時間強と近く、皆様にもお勧めです!



《社長 森 直樹》

## 「大掃除」

小坂 美香 (営業部)



今、いろいろな所で、クリスマスのイルミネーションを見かけるようになってきました。私の家の近くにも、庭や家全体に電飾をしている家があります。今まではそれを見ると、今年もあと少しで終わりなんだなと思っていたのですが、ここ何年かは年末年始が近づいても、全然そんな気がしなくなってきたのは、私だけなのかなと感じてしまいました。

年末と言えば大掃除というイメージが私の中ではあります。私は片付けが下手なので、いつも大変な状態になりながらやっています。いつか使えるだろうと取っておいた物も、結局使わずに捨てる事が多いような気がします。物だけでなく、洋服でも同じです。何年も着ていない物を、今になって着る可能性は無いと分かっているにもかかわらず、クローゼットがいっぱいの状態です。使わないと思った物はいつまでも置いておかずに、すぐに捨てる事も必要だなと感じました。また、普段はやらない場所も、この時だけはやるようにしています。そうすると、何処にしまったか分からなくなっていた物や、無くしたと思っていた物がふと出てきたりもするので、面倒だと思わずに定期的にするように心掛けたいです。そして、毎年ぎりぎりまで動かず慌てている事が多いので、今年こそは早めに始め、良い年を迎えられる準備をしたいと思いました。